

情報・通信工学課程情報工学コースグローバル PBL 参加のお願い

情報・通信工学課程情報工学コース新1年生の保護者の皆様へ

情報・通信工学課程情報工学コース(以下、情報工学コース)では、異文化体験、異文化交流を通じてグローバル社会で通用するために必要な意識を醸成するとともに、必須ツールである英語力を向上させるため、グローバルPBLを企画し実施しています。グローバルPBLとは、期間を決めて(約2週間)グループで問題に取り組み、その問題を解決する過程で様々な能力を向上させる学習方法(PBL)であり、これを海外で外国人学生らと共に、グローバルに行うものです。得られる教育効果は

- 実践を通じたITに関する能力の向上
- 英語を含むコミュニケーション能力の向上
- 異文化への理解
- 学生生活での学習意欲向上

等が挙げられます。これらの能力は、これからグローバル化社会を生き抜く上で重要な能力だと考えています。こうした背景から、情報工学コースでは卒業までにPBLに参加することを原則としており、特に2年生のうちに参加することを強く推奨しています。このグローバルPBLは、専門科目の2単位として単位認定されます。

情報工学コースでは、2年次に、そこまでに大学の海外派遣プログラム(グローバルPBLや語学研修)に参加していない2年生を対象に海外語学研修を選択するアンケートを実施し、いずれかのPBLに参加することを原則とさせて頂きたいと考えています。グローバルPBLは海外で実施するため、渡航費、約2週間の滞在費、生活費がかかりますが、情報工学科での多くのグローバルPBLはアジア(タイとベトナム)で実施するため、概ね総額約20万円未満で参加することが可能です。また、給付型の奨学金が用意されており、成績(GPA)によって額が異なりますが大学から7万円または5万円が例外なく支給(返済不要)されます(2023年度実績。ただし、金額や条件は年度単位で見直しがあります)。そのため、アジアでは実質13万(または15万)円程度で参加することができる予定です。そこで、保護者の皆様におかれましては、2年次の夏または春に参加するグローバルPBLに関する学生本人とのご相談や、参加費用(実質参加費から奨学金を引いた額)のご負担をお願い申し上げます。

各グローバル PBL に関しては情報工学コース(旧情報工学科)の Web Page (<https://cse-sit.sakura.ne.jp/globalpbl2023/>)に掲載されています。QR コードからもアクセス可能です。



情報工学コースのグローバル化への取り組みをご理解いただき、グローバル教育にご協力いただけると幸いです。

情報・通信工学課程情報工学コース教員一同